

製品安全データシート

作成日：2015年07月30日

改訂日：2026年01月06日

確認日：2026年01月06日

1. 化学品及び会社情報

製品名 [構成品名]	HISCL KL-6 キャリブレータ [HISCL KL-6 C0、HISCL KL-6 C1、HISCL KL-6 C2、 HISCL KL-6 C3、HISCL KL-6 C4]
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 078-991-1911 臨床検査測定用
緊急連絡電話番号	推奨用途以外への使用は禁止する。
推奨用途	
使用上の制限	

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	区分に該当しない
健康に対する有害性	区分に該当しない
環境に対する有害性	区分に該当しない
GHS ラベル要素	
絵表示	該当しない
注意喚起語	該当しない
危険有害性情報	該当しない
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	該当しない
保管	該当しない
廃棄	該当しない
GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の有害危険性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性があります。 本品にはヒト由来成分を含んでいます。原料は、HBs 抗原、HCV RNA 定量、HIV 抗原抗体、HIV-1/2 抗体の検査を行い、陰性の結果を得ていますが、感染の危険性を完全に否定できる検査法はありません。また、それ以外の

ウイルスに関する検査はしていません。感染の危険性があるものとして、検体と同様に十分注意して取り扱いください。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (%)	官報公示整理番号		CAS 登録番号
		化審法番号	安衛法番号	
アジ化ナトリウム	≤0.1	(1)-482	既存化学物質	26628-22-8

本品にはアジ化ナトリウムが含まれていますが、法的には毒物として取扱われません。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

吸入した場合

必要なら医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。

眼に入った場合

清浄な流水で、充分に洗眼し、必要なら眼科医の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水でよく口中を洗浄し、必要なら医師治療を受ける手配をする。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

特に必要ない

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂、霧状水

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

加熱により容器が破損する恐れがある。

消防活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

火災によって刺激性、危険性及び有害性のガスを発生する恐れがある。

消防作業は風上から行い、場合によっては保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

水拭き後、消毒用アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム液等で拭き取る。人体への措置は特に必要ない。

環境に対する注意事項

漏出した薬品、廃液が河川等に流出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 二次災害の防止策	大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
-----------------------------	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	正しく測定するために添付文書をお読みください。 眼、皮膚との接触を避けること。 飲み込まないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 使用後は容器を密閉すること。 漏れ、あふれ、飛散しないようにすること。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 本製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
衛生対策	
保管	
安全な保管条件	冷所（2～8°C）で密栓して保管する（凍結禁止）。
安全な容器包装材料	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	
日本産業衛生学会	情報なし
A C G I H	情報なし
設備対策	特に必要ない
保護具	
呼吸用保護具	特に必要ない
手・皮膚の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
特別な注意事項	保護衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	無色～淡黄色透明
臭い	無臭
融点／凝固点	データなし

沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	不明
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	約 7.5
動粘性率	データなし
溶解度	水に易溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	約 1.0
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	成分のアジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性の化合物を生成する危険性がある。
避けるべき条件	金属、鉛、銅との長時間の接触
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	NaN_3 純物質として：ラット／経口 LD ₅₀ 27 mg/kg
経皮	分類できない
吸入	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない
その他の情報	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性、短期(急性)	情報なし
水生環境有害性、長期(慢性)	情報なし
残留性・分解性	情報なし
生態蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
その他の有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

化学品（残余廃棄物）当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	
残余廃棄物	本品単体の場合、大量の水と共に流してください。
付着している汚染容器及び包装	行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。

14. 輸送上の注意

国際規制	
航空規制情報（ICAO/IATA）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海上規制情報（IMO）	輸送危険物には該当しない
国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類（危険有害性クラス）	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78 付属書II及びIBCコードによる ばら積み輸送される液体物質	非該当
国内規制	

航空規制情報	輸送危険物には該当しない
海上規制情報	輸送危険物には該当しない
陸上規制情報	輸送危険物には該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全策	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷を来さず、横倒しないよう積み込み、荷崩れ防止を確実に行ってください。

15. 適用法令

薬機法	体外診断用医薬品
安衛法	非該当
化管法	非該当
毒劇法	非該当
化審法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
航空法	非該当
船舶安全法(危険物船舶運送及び貯蔵規則)	非該当
消防法	非該当
スイス連邦法 挥発性有機化合物の特別税法	非該当

16. その他の情報

その他の情報	本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。
略語	<p>ACGIH : アメリカ合衆国産業衛生専門官会議(American Conference of Governmental Industrial Hygienists)</p> <p>ICAO : 国際民間航空機関(International Civil Aviation Organization)</p> <p>IATA : 国際航空運送協会(International Air Transport Association)</p> <p>IMO : 国際海事機関(International Maritime Organization)</p> <p>IBC コード : 国際バルクケミカルコード(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk)</p> <p>薬機法 : 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律</p> <p>安衛法 : 労働安全衛生法</p> <p>化管法 : 化学物質排出把握管理促進法</p> <p>毒劇法 : 毒物及び劇物取締法</p>

データの主要な文献参照と出典

化審法：化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

NITE：独立行政法人製品評価技術基盤機構(National Institute of Technology and Evaluation)

NITE GHS 分類公表データ